

## 「ヨコハマトリエンナーレ 2014」の開催報告について



### 1 開催概要

- (1) 展覧会名称 ヨコハマトリエンナーレ 2014  
「華氏 451 の芸術：世界の中心には忘却の海がある」
- (2) 会 期 平成 26 年 8 月 1 日(金)～11 月 3 日(月・祝)  
開催日数：89 日間 ※休場日：第 1・3 木曜日(計 6 日間)
- (3) 会 場 横浜美術館、新港ピア(新港ふ頭展示施設)
- (4) 参加作家 19 の国から 65 組 79 名、作品数 444 件
- (5) 開場時間 10：00～18：00 (一部の土曜日は 20：00 まで開場)
- (6) 主 催 横浜市、(公財)横浜市芸術文化振興財団、NHK、朝日新聞社  
横浜トリエンナーレ組織委員会
- (7) 支 援 文化庁(国際芸術フェスティバル支援事業)
- (8) 特別協力 独立行政法人国際交流基金
- (9) チケット 連携セット券 一般 2,400 円／大学・専門学校生 1,800 円／高校生 1,400 円  
単体券 一般 1,800 円／大学・専門学校生 1,200 円／高校生 800 円  
※連携セット券は、ヨコハマトリエンナーレ 2014 と創造界限拠点連携プログラム「BankART Life IV」及び「黄金町バザール 2014」にご入場いただけるセット券です。

### 2 来場者数

214,901 人

<会場別内訳>

	横浜美術館 (有料会場)	新港ピア (有料会場)	展覧会 プログラム※
来場者数	132,908 人	76,105 人	5,888 人

有料会場 1 日平均 2,348 人(平日 1,597 人、土休日 3,687 人)

※「展覧会プログラム」は、有料会場以外で実施した出品作家関連プログラムの来場者数



マイケル・ランディ《アート・ピン》  
2010/2014  
撮影：加藤 健

### 3 入場券販売枚数

103,807 枚

<内訳>

	前売券	当日券
販売枚数	23,516 枚	80,291 枚



ヴィム・デルボア《低床トレーラー》2007  
MONA, Australia 蔵  
撮影：加藤 健

裏面あり

#### 4 報道状況

11月7日現在、日本を含む15の国と地域において3,700件のメディア露出がありました。

<メディア露出件数>

(単位：件)

総計	テレビ	CATV	ラジオ	新聞	雑誌	WEB	その他
3,700 (82)	45(2)	1020(0)	36(0)	779(3)	358(21)	1416(56)	46(0)

※ ( ) の数字は、海外の露出件数。内数。

#### 主な報道実績

- テレビ 日曜美術館 (NHK)、スッキリ!! (日本テレビ)、めざましテレビ (フジテレビ)
- 新聞 朝日新聞、日本経済新聞、読売新聞、毎日新聞、神奈川新聞、日刊スポーツ
- 海外 What Do Artists Do All Day? (BBC・イギリス)、  
Flash Art (雑誌・イタリア)、Art in Culture (新聞・韓国)

#### 5 今回展の成果・実績

- ・森村泰昌アーティストック・ディレクターが、真摯なメッセージを伝える展覧会を構成し、その内容は国内外の専門家から高く評価された。
- ・東アジア文化都市 2014 横浜の特別事業にも位置付けられ、中国・韓国を中心に多くの海外の方と交流を深めることができた。
- ・「まちにひろがるトリエンナーレ」として、初めて創造界限拠点5拠点すべてと連携することができた。
- ・市民サポーターによる展示支援活動や作品解説などを行い、サポーターの登録者数も過去最高となり、より多くの市民が参加した。

【参考：サポーター登録者数と活動延べ人数】

	登録者数	会期中活動延べ人数
2014年展	1,631人	2,449人

- ・中学生、高校生による作品ツアーガイドの実施や、市内の小中学生に向けて専用のポケットガイドを配布したことにより、中学生以下の来場者数も前回展より増加した。

【参考：中学生以下・外国人来場者数】

	中学生以下	外国人
2014年展	26,381人	4,501人



## 横浜トリエンナーレ開催実績

	開催年	会期 (開場日数)	主会場	テーマ	ディレクター	作家数	作品数	総事業費	総来場者数	外国人 来場者数	中学生以下 来場者数	有料会場 来場者数	チケット 販売枚数	メディア 露出件数	ボランティア 登録者数
第1回	2001	9月2日～ 11月11日 (67日)	[2会場] ●パシフィコ横浜 展示ホール ●横浜赤レンガ倉庫 1号館	メガ・ウェイブ 新たな総合に向けて	アーティストック・ ディレクター: 河本 信治 建畠 哲 中村 信夫 南條 史生	109作家	113件	約7億円	約35万人	—	—	約35万人 ※	約17万枚	—	719人
第2回	2005	9月28日～ 12月18日 (82日)	[1会場] ●山下ふ頭3号・4号 上屋	アートサーカス 日常からの跳躍	総合ディレクター: 川俣 正	86作家	84件	約9億円	約19万人	—	—	約16万人	約12万枚	1,089件	1,222人
第3回	2008	9月13日～ 11月30日 (79日)	[4会場] ●新港ピア ●日本郵船海岸通 倉庫(BankART Studio NYK) ●横浜赤レンガ倉庫 1号館 ●三溪園 ●他無料3会場	TIME CREVASSE タイムクレヴァス	総合ディレクター: 水沢 勉	72作家	66件	約9億円	約55万人	—	—	約30万人 ※	約9万枚	1,233件	1,510人
第4回	2011	8月6日～ 11月6日 (83日)	[2会場] ●横浜美術館 ●日本郵船海岸通 倉庫(BankART Studio NYK) ●他無料2会場	OUR MAGIC HOUR 世界はどこまで知ること ができるか?	総合ディレクター: 逢坂 恵理子 アーティストック・ ディレクター: 三木 あき子	77組 79名	337件	約9億円	約33万人	約3,000人	24,205人	約30万人 ※	約17万枚	1,763件	940人
第5回	2014	8月1日～ 11月3日 (89日)	[2会場] ●横浜美術館 ●新港ピア	華氏451の芸術: 世界の中心には 忘却の海がある	アーティストック・ ディレクター: 森村 泰昌	65組 79名	444件	約10億円	約21万人	4,501人	26,381人	約21万人 ※	約10万枚	3,700件	1,631人

※ 第1回、第3回、第4回、第5回については、有料会場の延べ入場者数